



--	--	--	--

## 全日本物流改善事例大会2018 (第32回)

# 発表者募集

～皆様が取り組んだ“改善事例”を募集! 発表事例より「物流合理化賞」を決定!!～

### ■ 応募締切日

2018年1月19日(金)

### ■ 大会開催日(予定)

1日目: 2018年5月15日(火)

2日目: 2018年5月16日(水)



クリスタル  
(発表者に授与いたします)

## 全日本物流改善事例大会2017



(前回会場風景より)

## 2017年度 物流合理化賞受賞企業

### 物流合理化賞 受賞企業

アドバンスト・ロジスティクス・ソリューションズ株式会社  
本田技研工業株式会社

### 物流合理化努力賞 受賞企業

株式会社スバルロジスティクス  
日昭産業株式会社  
株式会社ホームロジスティクス  
株式会社ロジスティクス・ネットワーク  
ロジスティクスオペレーションサービス株式会社

# 発表者募集のご案内

全日本物流改善事例大会は、優れた物流改善の事例を発表し、合理化の手がかりやノウハウを物流の実務者同士が共有し合う交流の場です。身近な工夫や、さりげない努力、小集団活動による改善の成果を気軽にご応募ください。なお、発表いただく改善対象範囲により、物流センター等での現場改善を対象とした「I. 物流業務部門」と運営・管理部門での改善を対象とした「II. 物流管理部門」からのエントリー方式にて募集いたします。応募事例の中から選考された「優秀事例」は、全日本物流改善事例大会2018にてご発表いただき、特に優れた内容には、実行委員会で審査のうえ、「物流合理化賞」を授与いたします。物流現場や部門の方々からの積極的なご応募をお待ちしております。

## 全日本物流改善事例大会2018 開催要領

経済活動の多様化に伴い、物流機能における合理化のあり方も条件によって様々な取り組みがなされている。その結果、物流における優れた改善合理化のノウハウが多くの企業に蓄積されてきた。これを相互に発表し情報交換することは、物流改善活動の裾野を広げ、合理化のヒントを共有するうえで大きな意義がある。こうした状況を鑑み、「全日本物流改善事例大会2018」を開催する。

■ 主催 **公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会**  
**一般社団法人 日本物流資格士会**

■ 会期 **2018年 5月15日(火)・5月16日(水)** 10:00~17:00  
(開催日時は予定)

■ 会場 **御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター sola city Hall**  
東京都千代田区神田駿河台4-6

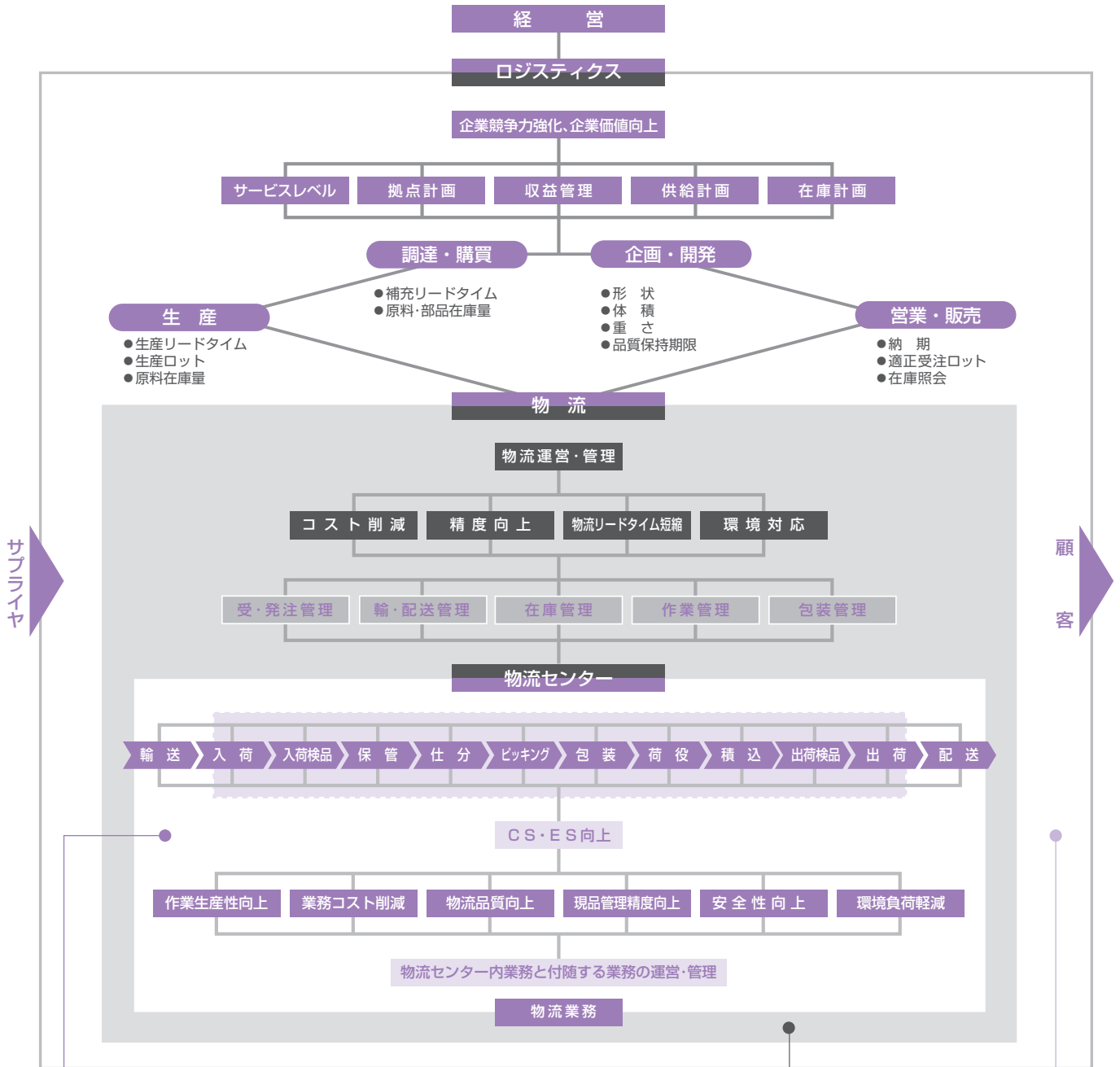
物流の実務者による身近な改善事例について、物流センター等での現場改善を対象とした「I. 物流業務部門」と運営・管理部門での改善を対象とした「II. 物流管理部門」の部門別に募集し、応募事例の中から選考された「優秀事例」を2018年5月15日(火)・5月16日(水)に開催される「全日本物流改善事例大会2018」にてご発表いただきます。なお、発表者には優秀事例としてクリスタルを授与いたします。さらに、優秀事例の中から「物流合理化賞」、「物流合理化努力賞」を決定し、2018年6月開催の当協会定時総会の席上で表彰式を行います。受賞企業には正賞(表彰状)と副賞(賞金)を授与いたします。

## 全日本物流改善事例大会 実行委員会 委員名簿

委員長	成蹊大学	名誉教授	渡邊 一衛
副委員長	東京海洋大学	学術研究院 流通情報工学部門 教授	黒川 久幸
委員	伊藤忠食品(株)	ロジスティクス本部 ロジスティクス運営部 部長	神山 浩二
//	SBSロジコム(株)	営業本部 次長 (日本物流資格士会)	三身 直人
//	(株)オカムラ物流	取締役 物流企画部 部長	重信 敏治
//	(株)カスミ	ロジスティック本部 物流部 物流戦略担当マネジャー	齋藤 雅之
//	サッポログループマネジメント(株)	グループロジスティクス部 専任部長	木村 菊夫
//	山九(株)	ロジスティクス・ソリューション事業本部 企画部 部長	中原敬一郎
//	東芝ロジスティクス(株)	物流改革推進部 企画担当 参与	脇田 哲也
//	日本通運(株)	ロジスティクスエンジニアリング戦略室 専任部長	中野 喜正
//	日本システムウエア(株)	ITソリューション事業本部 営業統括部 第一営業部 マネージャー (日本物流資格士会)	東川 喜之
//	(公益)日本ロジスティクスシステム協会	JILSアドバイザー	飯田 正幸
//	福島大学	共生システム理工学類 産業システム工学専攻 講師	寛 宗徳
//	本田技研工業(株)	生産本部 SCM企画部 主幹 物流部会ヘッド	鈴木 勝
//	三菱地所リアルエステートサービス(株)	企業不動産三部 次長 (日本物流資格士会)	堀川 亮一
//	三菱電機(株)	生産システム本部 ロジスティクス部 企画グループ 専任	安藤 直明
//	村田機械(株)	L&A事業部 営業企画室 室長	根尾佳珠機
//	ロジスティクス エンジニア オフィス 茅ヶ崎	代表 (日本物流資格士会)	藤巻 敬

# 募集領域

日本ロジスティクスシステム協会(JILS)では、「ロジスティクス」「物流」「物流業務」の3領域に区分して「ロジスティクス」を構成する1つの業務を「物流」とし、「物流」の中で物流センター内業務と付随する業務を「物流業務」としています。「全日本物流改善事例大会2018」では、「物流」と「物流業務」における改善事例を募集いたします。



## 本大会での募集領域

I. 物流業務部門 (物流センター等での現場改善)		II. 物流管理部門 (運営・管理部門での改善)		ロジスティクス	
対象範囲	ひとつの作業所(現場)で完結する小集団が対象	複数の物流業務および工程を統合した範囲が対象		対象範囲	企画・開発、生産、物流、営業、販売を総合した範囲が対象
対象業務	輸送、入荷、検品、保管、仕分、ピッキング、包装、荷役、積付、出荷、配送	受・発注管理、輸・配送管理、在庫管理、作業管理、包装管理		対象業務	企画・開発、調達・購買、生産、物流、営業・販売
関係部門	物流センター 等	物流部門 等		関係部門	部門横断的(協力会社連携)
役割	作業生産性向上、業務コスト削減、物流品質向上、現品管理精度向上、安全性向上、環境負荷軽減 等	コスト削減、精度向上、物流リードタイム短縮、環境対応 等		役割	サービスレベル、拠点計画、収益管理、供給計画、在庫計画 等

※上記領域区分については、「物流現場改善推進のための手引書」(改訂版)にて解説しています。この手引書はJILSホームページ(<http://www.logistics.or.jp/education/support.html>)からダウンロードすることができます。

事例応募の前には是非ご確認ください。

※上記領域区分における「ロジスティクス」に対する改革・改善事例については、JILSの「ロジスティクス大賞」へのご応募をおすすめ致します。詳しくはJILSホームページもしくは事務局までお問い合わせください。

# 募集部門

改善対象範囲により、2つの募集部門を設けております

( 取り組まれた改善事例の対象範囲を以下に照らし合わせ、  
I.Ⅱ.どちらかの募集部門にエントリーしてください。 )

	I. 物流業務部門 (物流センター等での現場改善)	Ⅱ. 物流管理部門 (運営・管理部門での改善)
対象範囲	ひとつの作業所(現場)で完結する小集団が対象	複数の物流業務および工程を統合した範囲が対象
対象業務	輸送、入荷、検品、保管、仕分、ピッキング、 包装、荷役、積付、出荷、配送	受・発注管理、輸・配送管理、在庫管理、作業管理、 包装管理
関係部門	物流センター 等	物流部門 等
主体者	主任・リーダー、派遣社員・パートタイマー、 協力会社	課長、係長

## こんな事例ありませんか？

( 身近に行われている生産性、物流品質、安全性、顧客サービス向上やコスト低減、  
環境負荷軽減を実現した事例はありませんか。 )

### I. 物流業務部門 (物流センター等での現場改善)

- 庫内作業の改善例
  - ・ピッキングリストや棚表示、ピッキング作業の改善
  - ・人員配置の改善によるピーク時対応や負荷の標準化
  - ・荷役機械、保管設備、パレット、容器、情報端末等の改善
  - ・出荷頻度や取扱製品に応じた保管、配置方法の改善
  - ・作業環境、作業方法の改善
  - ・包装作業の改善
- 輸配送の改善例
  - ・復路輸送の空荷防止などによる収益の向上
  - ・誤出荷、誤納の減少
  - ・トラックの積載率、回転率、運行効率の向上
  - ・トラックの滞留・積載時間の短縮
- 輸出・輸入業務の改善例
  - ・港湾、空港など輸出入物流拠点における業務改善
  - ・コンテナ輸送における物流の効率化
  - ・通関業務における事務作業の改善 等

### Ⅱ. 物流管理部門 (運営・管理部門での改善)

- 物流システムの改善例
  - ・物流拠点の統合・再配置による改善
  - ・事前出荷情報の取得と活用による改善
  - ・国内・海外物流拠点間輸配送の改善
  - ・港湾地区における渋滞への対応
  - ・IT・IoT活用による効率化、業務改善
  - ・物流に配慮した包装設計
  - ・パレット、包装資材の環境対策
- 管理系(取引条件等)の改善例
  - ・納期回答の迅速化
  - ・取引条件の変更による改善
  - ・物流変動に合わせた作業体制によるコスト削減 等

#### 物流全般

- ・環境対応、環境負荷の低減を目指した活動
- ・CSの向上(クレームの減少)
- ・震災対応について
- ・教育訓練によるモラル・モチベーションの向上
- ・労働力不足への対応

※日本企業の海外現地法人での改善事例も対象です。

## 2017年度 物流合理化賞 受賞事例

### 〈 物流合理化賞 〉

動作分析ノウハウを活用したムダ作業削減による  
生産性の改善  
**アドバンスト・ロジスティックス・ソリューションズ株式会社**

強化カートンケース開発による廃棄物削減  
**本田技研工業株式会社**

### 〈 物流合理化努力賞 〉

CKD海上輸送コンテナ容積充填率向上へ向けた  
総合的取組み  
**株式会社スバルロジスティクス**  
「渋滞学」活用によるピッキング・アソート作業の効率化  
**日昭産業株式会社**

スワップボディコンテナ導入による  
車両の安定確保と輸送コスト削減  
**株式会社ホームロジスティクス**  
配送ドライバーの労務改善による効果  
**株式会社ロジスティクス・ネットワーク**  
改バリアフリーな受入れ業務  
健常者と障がい者の壁を無くす  
**ロジスティクスオペレーションサービス株式会社**

●上記事例の内容は当会機関誌「ロジスティクスシステム」2017年夏号に掲載されています。

# 物流合理化賞

全日本物流改善事例大会 実行委員会では、大会でご発表いただいた優秀事例を、下記の基準で審査し、「物流合理化賞」および「物流合理化努力賞」を決定し、2018年6月開催の当協会定時総会の席上で表彰式を行います。受賞企業には正賞(表彰状)と副賞(賞金)を授与いたします。また、受賞企業は、当協会機関誌「ロジスティクスシステム」の他、専門雑誌および業界紙等で発表いたします。

## 審査基準

### ①現状把握度

自社および自部門の目標や、物流特性を理解し、現状を正しく認識した上で解決すべき問題を抽出し、原因の分析ができているか。

### ②改善企画度

抽出した問題点に対して、具体的に実行可能な改善計画を立案し、改善活動に関わる全ての人に理解できる目標を策定できているか。

### ③改善実行度

改善計画の実行を周知徹底し、マニュアル等を活用して教育指導・コミュニケーションを図り、トラブルなどにも適切に対処できているか。

### ④評価・定着度

改善の進捗状況や、その達成度合いを正しく評価し、必要に応じて改善活動の促進を図るとともに、活動を定着化できているか。

### ⑤成果度

顧客満足度や生産性の向上など現場および自社内や関係企業への定量的な効果。

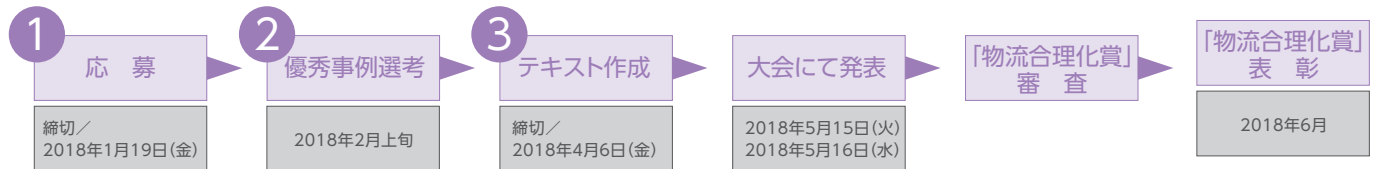
### ⑥表現力

改善内容を分かりやすくテキストや発表で表現できているか。

### ⑦総合点

上記項目では評価されにくい部分について総合的に判断する。

## 応募から表彰までの流れ



## ① 応募方法と締切日

発表申込書に必要な事項をご記入いただき、会社案内パンフレットとアブストラクト(発表内容をA4用紙1枚にまとめたもの)を添付して、事務局宛にご送付ください。(メールによる応募も受け付けております。)

※アブストラクトの作成につきましては、同封の「アブストラクト作成要領」をご参照ください。

※優秀事例の選考は発表申込書およびアブストラクトの内容を基に行います。必ず事前にアブストラクト作成要領をご参照いただき、できる限り詳細かつ具体的内容をご記入ください。

なお、応募にご関心のある方は、詳細をご説明させていただきますので事務局までご連絡ください。

申込書は当協会ホームページからもダウンロードできます。

JILSホームページ <http://www.logistics.or.jp/>

メールによる申込書送付先 [kaizenjirei@logistics.or.jp](mailto:kaizenjirei@logistics.or.jp)

応募締切日 **2018年1月19日(金) 必着**  
(締切厳守)

## ② 優秀事例選考

実行委員会にて応募事例の中から発表申込書およびアブストラクトを基に「優秀事例」を選考し、選考された事例につきましては2018年5月15日(火)・5月16日(水)開催の「全日本物流改善事例大会2018」にてご発表いただきます。(1テーマ20分程度でご発表いただきます) ※発表日・時間は事務局にて決定させていただきます。

なお1社から複数の事例応募があった場合には、発表いただける事例数に制限をかける場合がございます。

## ③ テキスト作成の締切日

「優秀事例」に選ばれた方には、テキストの作成をお願いしております。

テキストは改善の背景・目的・成果等、ご発表いただく内容を網羅したものを作成してください。

詳細につきましては別途ご案内いたします。

原稿締切日 **2018年4月6日(金)**

お申し込み・お問い合わせ先

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会  
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウム  
TEL.03-3436-3191 FAX.03-3436-3190



# ●全日本物流改善事例大会2018発表申込書●

発表申込書は当協会ホームページからもダウンロードできます。

会社名			
所在地	〒 _____		
所属		役職	
ふりがな			
氏名			
TEL	— —	FAX	— —
E-mail	_____@_____		

## 1. 応募部門

◆どちらかの部門にチェックをお願いします。

	<input type="checkbox"/> I.物流業務部門	<input type="checkbox"/> II.物流管理部門
対象範囲	ひとつの作業所(現場)で完結する、小集団が対象の事例	複数の物流業務および工程を統合した範囲が対象の事例

◆改善事例の対象となる業務に○をつけてください。(あてはまる業務すべて)

### 物流業務

輸送 > 入荷 > 入荷検品 > 保管 > 仕分 > ピッキング

包装 > 荷役 > 積込 > 出荷検品 > 出荷 > 配送

その他 \_\_\_\_\_

### 物流管理

受・発注管理   輸・配送管理   在庫管理

作業管理   包装管理

その他 \_\_\_\_\_

◆改善事例における主な取り扱い製品をご記入ください。

## 2. 改善事例テーマ

.....

.....

## 3. 改善事例について要約文をご記入ください (150文字以内)

.....

.....

.....

.....

## 4. 今回お申し込みいただいた改善事例のどこがセールスポイントであるか、社内外の方の評価をお書きください

.....

.....

本申込書に会社案内パンフレットとアブストラクト(発表内容をA4用紙1枚にまとめたもの)を添付して、事務局宛にご送付ください。

企業および製品のPR内容での応募はご遠慮ください。

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。

詳細は当協会のプライバシーポリシー(<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>)

をご覧ください。

**応募締切日 2018年1月19日(金) 必着**  
(締切厳守)

※応募締切日を過ぎた発表申込書は受理できませんのでご注意ください。